

注3

大学番号：私219

[平成27年度設置]

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

立命館大学 薬学部 創薬科学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 立命館
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 薬学部事務室

職名・氏名 事務長 平野 良

電話番号 077-561-2563

（夜間） 077-561-2563

F A X 077-561-2564

e-mail mlst-ri-kai2@ml.ritsumeit.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

薬学部

<創薬科学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	16
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	25
6. 留意事項等に対する履行状況等	65
7. その他全般的事項	66

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 立命館

(2) 大学名 立命館大学

(3) 大学の位置

〒525-8577

滋賀県草津市野路東1丁目1番1号

(〒604-8520 京都府京都市中京区西ノ京東栞尾町8番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ナガタ トヨオミ) 長田 豊臣 (平成19年2月)	(モリシマ トモミ) 森島 朋三 (平成29年7月)	任期満了のため変更、平成29年7月21日 (30)
学長	(カワグチ キヨフミ) 川口 清史 (平成23年1月)	(ヨシダ ミキオ) 吉田 美喜夫 (平成27年1月)	任期満了のため変更、平成27年1月1日 (27)
学部長	(イマムラ ノブタカ) 今村 信孝 (平成26年4月)	(ハットリ ナオキ) 服部 尚樹 (平成29年4月)	選任のため変更 (29)
副学部長	(イナヅ テツヤ) 稲津 哲也 (平成26年4月)	(アサノ シンジ) 浅野 真司 (平成28年4月)	選任のため変更 (28)
		(トヨダ ヒデナオ) 豊田 英尚 (平成30年4月)	選任のため変更 (30)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
薬学部 創薬科学科 学士(薬科学)	薬学関係	4年	60人	- 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [-]	-	60 (-) [-]	-	60 (-) [-]	-	60 (-) [-]	-	0.92倍	
志願者数	473 (-) [-]	-	509 (-) [-]	-	599 (-) [1]	-	649 (-) [4]	-		
受験者数	458 (-) [-]	-	496 (-) [-]	-	584 (-) [1]	-	627 (-) [4]	-		
合格者数	259 (-) [-]	-	275 (-) [-]	-	333 (-) [1]	-	241 (-) [4]	-		
B 入学者数	46 (-) [-]	-	54 (-) [-]	-	70 (-) [1]	-	53 (-) [4]	-		
入学定員超過率 B/A	0.76		0.90		1.16		0.88			

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について**外数**で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入**してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	46 [-] (-)	- [-] (-)	54 [-] (-)	- [-] (-)	70 [1] (-)	- [-] (-)	54 [4] (1)	- [-] (-)	
2年次	/		44 [-] (-)	- [-] (-)	60 [-] (9)	- [-] (-)	88 [1] (14)	- [-] (-)	
3年次	/		/		33 [-] (-)	- [-] (-)	44 [-] (5)	- [-] (-)	
4年次	/		/		/		33 [-] (-)	- [-] (-)	
計	46 [-] (-)		98 [-] (-)		163 [1] (9)		212 [5] (20)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	46人	1人	平成27年度	1人	0人	・他の教育機関への入学・転学(1)
平成28年度	99人	5人	平成27年度	2人	0人	・他の教育機関への入学・転学(1) ・就学意欲の低下(1)
			平成28年度	3人	0人	・他の教育機関への入学・転学(3)
平成29年度	163人	4人	平成27年度	1人	0人	・就学意欲の低下(1)
			平成28年度	1人	0人	・他の教育機関への入学・転学(1)
			平成29年度	2人	0人	・他の教育機関への入学・転学(2)
平成30年度	212人	0人	平成27年度	0人	0人	
			平成28年度	0人	0人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
合計	520人	10人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(0人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{46} = \boxed{2.17} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{99} = \boxed{5.05} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{163} = \boxed{2.45} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{212} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

〈薬学部 創薬科学科〉

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	英語P1	1前										1
	英語P2	1後										1
	英語P3	2前										1
	英語P4	2後										1
	英語S1	1前										1
	英語S2	1後										1
	英語S3	2前										1
	英語S4	2後										1
	教養科目	哲学と人間	1・2・3・4後	2								
人間性と倫理		1・2・3・4前	2									1
心理学入門		1・2・3・4後	2									1
論理と思考		1・2・3・4前	2									1
社会思想史		1・2・3・4後	2									1
科学技術と倫理		1・2・3・4前	2									1
ジェンダー論		1・2・3・4前	2									1
宗教と社会		3・4後	2									1
メンタルヘルス		3・4後	2									2
社会学入門		1・2・3・4前	2									1
文化人類学入門		1・2・3・4前	2									2
文学と社会		1・2・3・4後	2									1
現代の教育		1・2・3・4前	2									1
世界の言語と文化		1・2・3・4前	2									2
美と芸術の論理		1・2・3・4前	2									1
メディアと現代文化		1・2・3・4前	2									1
現代社会と法		1・2・3・4後	2									1
市民と政治		1・2・3・4前	2									1
経済と社会		1・2・3・4前	2									2
企業と社会		1・2・3・4後	2									1
日本国憲法		1・2・3・4前	2									1
現代日本の政治		1・2・3・4前	2									1
現代の国際関係と日本		1・2・3・4後	2									1
現代の世界経済		1・2・3・4後	2									2
現代の経営		1・2・3・4前	2									1
社会と福祉		1・2・3・4後	2									2
災害と安全		1・2・3・4後	2									1
新しい日本史像		1・2・3・4前	2									1
中国の国家と社会		1・2・3・4前	2									1
東アジアと朝鮮半島		1・2・3・4後	2									1
ヨーロッパの歴史		1・2・3・4後	2									1
アメリカの歴史		1・2・3・4前	2									1
イスラーム世界の多様性		1・2・3・4後	2									1
宇宙科学		1・2・3・4前	2									1
地球科学		1・2・3・4後	2									1
科学と技術の歴史		1・2・3・4前	2									1
科学・技術と社会		1・2・3・4後	2									1
情報技術と社会		1・2・3・4後	2									1
平和学入門		1・2・3・4後	5									3
現代の人権		1・2・3・4前	1									2
日本の近現代と立命館		1・2後	1									10
戦争の歴史と現在		1・2・3・4前	1									1
国際平和交流セミナー		1・2・3・4後	1									2
英語とアメリカ文化(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
異文化理解セミナー(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
文化・社会調査(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	3									1
アメリカ社会(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	5									1
日豪関係Ⅰ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
日豪関係Ⅱ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
日豪関係Ⅲ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
日豪関係Ⅳ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
平和学Ⅰ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
平和学Ⅱ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
平和学Ⅲ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
平和学Ⅳ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	3									1
平和学Ⅴ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	5									1
環境と人間Ⅰ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
外国語科目	英語P1	1前										5
	英語P2	1後										5
	英語P3	2前										5
	英語P4	2後										5
	英語S1	1前										1
	英語S2	1後										1
	英語S3	2前										1
	英語S4	2後										1
	教養科目	哲学と人間	1・2・3・4後	2								
人間性と倫理		1・2・3・4前	2									1
心理学入門		1・2・3・4後	2									1
論理と思考		1・2・3・4前	2									1
社会思想史		1・2・3・4後	2									1
科学技術と倫理		1・2・3・4前	2									1
ジェンダー論		1・2・3・4前	2									1
宗教と社会		3・4後	2									1
メンタルヘルス		3・4後	2									2
社会学入門		1・2・3・4前	2									1
文化人類学入門		1・2・3・4前	2									2
文学と社会		1・2・3・4後	2									1
現代の教育		1・2・3・4前	2									1
世界の言語と文化		1・2・3・4前	2									2
美と芸術の論理		1・2・3・4前	2									1
メディアと現代文化		1・2・3・4前	2									1
現代社会と法		1・2・3・4後	2									1
市民と政治		1・2・3・4前	2									1
経済と社会		1・2・3・4前	2									2
企業と社会		1・2・3・4後	2									1
日本国憲法		1・2・3・4前	2									1
現代日本の政治		1・2・3・4前	2									1
現代の国際関係と日本		1・2・3・4後	2									1
現代の世界経済		1・2・3・4後	2									2
現代の経営		1・2・3・4前	2									1
社会と福祉		1・2・3・4後	2									2
災害と安全		1・2・3・4後	2									1
新しい日本史像		1・2・3・4前	2									1
中国の国家と社会		1・2・3・4前	2									1
東アジアと朝鮮半島		1・2・3・4後	2									1
ヨーロッパの歴史		1・2・3・4後	2									1
アメリカの歴史		1・2・3・4前	2									1
イスラーム世界の多様性		1・2・3・4後	2									1
宇宙科学		1・2・3・4前	2									1
地球科学		1・2・3・4後	2									1
科学と技術の歴史		1・2・3・4前	2									1
科学・技術と社会		1・2・3・4後	2									1
情報技術と社会		1・2・3・4後	2									1
平和学入門		1・2・3・4後	5									3
現代の人権		1・2・3・4前	1									2
日本の近現代と立命館		1・2後	1									10
戦争の歴史と現在		1・2・3・4前	1									1
国際平和交流セミナー		1・2・3・4後	1									2
英語とアメリカ文化(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
異文化理解セミナー(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
文化・社会調査(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	3									1
アメリカ社会(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	5									1
日豪関係Ⅰ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
日豪関係Ⅱ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
日豪関係Ⅲ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
日豪関係Ⅳ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
平和学Ⅰ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
平和学Ⅱ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
平和学Ⅲ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1
平和学Ⅳ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	3									1
平和学Ⅴ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	5									1
環境と人間Ⅰ(海外留学プログラム)		1・2・3・4後	1									1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
	環境と人間Ⅱ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		1							1
	環境と人間Ⅲ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		1							1
	環境と人間Ⅳ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		1							1
	環境と人間Ⅴ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	環境と人間Ⅵ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		3							1
	環境と人間Ⅶ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		5							1
	言語・文化・社会AⅠ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅡ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅢ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅣ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅤ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅥ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅦ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅧ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅨ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅩ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	英語UBC・JP作文	2-3-4前		2							1
	カナダ研究(海外留学プログラム)	2-3-4前		4							1
	異文化間コミュニケーション(海外留学プログラム)	2-3-4前		4							1
	環太平洋研究(海外留学プログラム)	2-3-4前		4							1
	言語・文化・社会BⅠ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅡ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅢ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅣ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅤ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅥ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅦ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅧ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅨ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅠ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅡ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅢ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅣ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅤ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅥ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	海外スタディ	1-2-3-4後		2							1
	海外スタディ	1-2-3-4後		4							1
	日本の社会	1-2-3-4前		2							1
	日本の文化	1-2-3-4前		2							1
	日本の経済	1-2-3-4前		2							1
	日本の経営	1-2-3-4前		2							1
	日本の自然	1-2-3-4前		2							1
	日本の科学技術	1-2-3-4前		2							1
	日本事情特殊講義	1-2-3-4前		2							1
	日本事情入門Ⅰ	1-2-3-4前		2							1
	日本事情入門Ⅱ	1-2-3-4後		2							1
	日本語学Ⅰ	2-3-4前		2							1
	日本語学Ⅱ	2-3-4後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教	准教	講	助	助	
	言語・文化・社会AⅠ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅡ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅢ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅣ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅤ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅥ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅦ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅧ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅨ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	言語・文化・社会AⅩ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		2							1
	カナダ研究(海外留学プログラム)	2-3-4前		4							1
	異文化間コミュニケーション(海外留学プログラム)	2-3-4前		4							1
	環太平洋研究(海外留学プログラム)	2-3-4前		4							1
	言語・文化・社会BⅠ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅡ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅢ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅣ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅤ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅥ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅦ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅧ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅨ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅠ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅡ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅢ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅣ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅤ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅥ(海外留学プログラム)	2-3-4前		2							1
	言語・文化・社会CⅠ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		3							1
	言語・文化・社会CⅡ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		3							1
	言語・文化・社会CⅢ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		3							1
	言語・文化・社会CⅣ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後		5							1
	海外スタディ	1-2-3-4後		2							1
	海外スタディ	1-2-3-4後		4							1
	日本語学	2-3-4前		2							1
	日本の文化・地理・歴史	1-2-3-4後		2							1
	日本の社会・政治	1-2-3-4後		2							1
	日本の経済・経営	1-2-3-4後		2							1
	日本の自然・科学技術	1-2-3-4前		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必修	選択	目 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養科目	留学生数学Ⅰ	1-2-3-4前		2							1
	留学生数学Ⅱ	1-2-3-4後		2							1
	留学生物理Ⅰ	1-2-3-4前		2							1
	留学生物理Ⅱ	1-2-3-4後		2							1
	地域参加学習入門	1-2-3-4前		2							1
	シチズンシップ・スタディーズⅠ	1-2-3-4通		2							1
	シチズンシップ・スタディーズⅡ	2-3-4前		2							1
	現代社会のフィールドワーク	1-2-3-4後		2							1
	ソーシャル・コラボレーション演習	2-3-4後		2							1
	全学インターンシップ	2-3-4後		2							1
	学びとキャリア	1-2-3-4前		2							1
	仕事とキャリア	2-3-4前		2							1
	社会とキャリア	3-4後		2							1
	スポーツの歴史と発展	1-2-3-4前		2							1
	スポーツと現代社会	1-2-3-4前		2							1
	スポーツのサイエンス	1-2-3-4後		2							1
	現代人とヘルスケア	1-2-3-4後		2							1
	スポーツ方法実習Ⅰ	1-2-3-4前		1							1
	スポーツ方法実習Ⅱ	1-2-3-4後		1							1
	教養ゼミナール	1-2-3-4前		2							1
	ピア・サポート論	2-3-4後		2							1
	海外フィールドスタディ	1-2-3-4後		2							1
	海外フィールドスタディ	1-2-3-4後		4							1
	APU交流科目	2-3-4		2							1
APU交流科目	2-3-4		4							1	
基礎科目	数学A(微分法)	1前		2							1
	数学B(積分法)	1後		2							1
	数学C(線形代数)	1前		2							1
	数学D(確率・統計)	1後		2							1
	数学演習A	1前		1							1
	数学演習B	1後		1							1
	物理学A	1前		2							1
	物理学B	1後		2							1
	生物科学	1前		2							1
	情報処理演習	1前		1				1			1
	日本語表現法	1前		2							1
	専門科目	創薬科学基礎演習	1前	1			1	2			
創薬研究概論		1後	2			2	1				
英語JP1		3前	2								1
英語JP2		3後	2								1
有機化学A		1前	2								1
有機化学B		1後	2								1
有機化学C		2前	2				1				
有機化学D		2後	2								1
物理化学A		1前	2								1
物理化学B		1後	2				1				
物理化学C		2前	2								1
分析化学A		1前	2				1				
機器分析化学		1後	2				1				1
分析化学B		2前	2				1				
医薬品製造学		3前	2								1
生体分子解析法		3前	2								1
構造生物学		3後	2				1				
生薬学		2前	2								1
天然物化学		2後	2								1
有機分子解析法		2前	2								1
放射化学		2後	2				1				2
和漢薬論		3後	2								1
合成化学		3後	2				1				1
香粧品学		4前	2								1
人体の構造と機能A	1後	2								2	
人体の構造と機能B	2前	2								1	
生化学A	1後	2								1	
生化学B	2前	2								1	
微生物学	2後	2								1	
分子生物学	2前	2				1				1	
公衆衛生学	2前	2				1				1	

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数		専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必修	選択	目 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
教養科目	地域参加学習入門	1-2-3-4前		2							1
	シチズンシップ・スタディーズⅠ	1-2-3-4通		2							2
	シチズンシップ・スタディーズⅡ	2-3-4前		2							1
	現代社会のフィールドワーク	1-2-3-4後		2							1
	ソーシャル・コラボレーション演習	2-3-4後		2							1
	全学インターンシップ	2-3-4後		2							5
	学びとキャリア	1-2-3-4前		2							1
	仕事とキャリア	2-3-4前		2							1
	社会とキャリア	3-4後		2							1
	スポーツの歴史と発展	1-2-3-4前		2							1
	スポーツと現代社会	1-2-3-4前		2							1
	スポーツのサイエンス	1-2-3-4後		2							1
	現代人とヘルスケア	1-2-3-4後		2							1
	スポーツ方法実習Ⅰ	1-2-3-4前		1							15
	スポーツ方法実習Ⅱ	1-2-3-4後		1							14
	教養ゼミナール	1-2-3-4前		2							18
	ピア・サポート論	2-3-4後		2							3
	海外フィールドスタディ	1-2-3-4後		2							1
	海外フィールドスタディ	1-2-3-4後		4							1
	APU交流科目	2-3-4		2							1
	APU交流科目	2-3-4		4							1
	真文化間テーマ演習	1-2-3-4後		2							1
	Understanding Language	1-2-3-4後		2							1
	Introduction to Computational Linguistics	1-2-3-4後		2							1
History of Computing	1-2-3-4後		2							1	
Language in Politics	1-2-3-4後		2							1	
Computers in Education	1-2-3-4後		2							1	
Digital Archives: Applications of ICT to the Humanities	1-2-3-4後		2							1	
Introduction to Economics	1-2-3-4後		2							1	
Non-verbal Communication	1-2-3-4後		2							1	
特殊講義(実践データ科学1)	1-2-3-4後		2							1	
特殊講義(実践データ科学2)	1-2-3-4後		2							1	
基礎科目	数学A(微分法)	1前		2							1
	数学B(積分法)	1後		2							1
	数学C(線形代数)	1前		2							1
	数学D(確率・統計)	1後		2							1
	数学演習A	1前		1							1
	数学演習B	1後		1							2
	物理学A	1前		2							1
	物理学B	1後		2							1
	生物科学	1前		2							1
	情報処理演習	1前		1				1			1
	日本語表現法	1前		2							1
	専門科目	創薬科学基礎演習	1前	1							5
創薬研究概論		1後	2						1	3	1
英語JP1		3前	2								2
英語JP2		3後	2								8
有機化学A		1前	2								1
有機化学B		1後	2								1
有機化学C		2前	2						1		
有機化学D		2後	2								1
物理化学A		1前	2								1
物理化学B		1後	2						1		
物理化学C		2前	2						1		1
分析化学A		1前	2						1		
機器分析化学		1後	2								1
分析化学B		2前	2						1		
医薬品製造学		3前	2								1
生体分子解析法		3前	2								3
構造生物学		3後	2						1		
生薬学		2前	2								1
天然物化学		2後	2								1
有機分子解析法		2前	2								2
放射化学		2後	2						1		2
和漢薬論		3後	2								2
合成化学		3後	2								1
香粧品学		4前	2								5
人体の構造と機能A	1後	2								1	
人体の構造と機能B	2前	2								1	
生化学A	1後	2								1	
生化学B	2前	2								1	
微生物学	2後	2								1	
分子生物学	2前	2						1		1	
公衆衛生学	2前	2						1		2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	目	教	准	講	助	助		
			修	修	由	授	教	師	教	手		
専門科目	生物統計学演習	2前	1					1			3	
	細胞生物学	2前	2				1					
	プロテオミクス	3前	2								1	
	薬理学A	2後	2								1	
	薬理学B	3前	2								1	
	薬理学C	3後	2			1						
	免疫学	2後	2								1	
	環境衛生学	3前	2			1						
	病態学A	2後	2								1	
	病態学B	3前	2								1	
	衛生化学	2後	2			1						
	毒性学	3後	2								1	
	バイオインフォマティクス	3前	2								1	
	システムバイオロジー	2後	2								1	
	ゲノム創薬科学	4前	2				1					
	ケミカルバイオロジー	2前	2								1	
	食品工学	4前	2								1	
	再生医療学	3後	2			1						
	分子神経科学	3後	2				1					
	免疫薬品学	4前	2								1	
	製剤学・物理薬剤学A	2後	2								1	
	製剤学・物理薬剤学B	3前	2								1	
	病原微生物学	3前	2								1	
	生物薬剤学	3前	2								1	
	日本薬局方概論	3前	2								1	
	薬物動態学	3後	2								1	
	薬物治療学A	3前	2								1	
	医薬品情報学	3後	2								1	
	薬物治療学B	3後	2								1	
	臨床薬剤学A	3後	2								1	
	薬物治療学C	4前	2								1	
	薬事法規・薬事制度	4前	2								1	
	医療倫理	4前	2								1	
	薬物送達学	3後	2								2	
	薬物治療学D	4前	2								1	
	医療薬学	4前	2								3	
	漢方医療薬学	4前	2								2	
	医薬品開発論	4前	2			1					3	
	臨床試験概論	4後	1								1	
医療統計学	4後	1								1		
分析化学実習A	1後	1			3				1		6	
分析化学実習B	1後	1			1				1	2	8	
物理化学実習A	2後	1				1			1	2	2	
物理化学実習B	2後	1				1				3	3	
有機化学実習A	2前	1				1				3	11	
有機化学実習B	2前	1				1				3	11	
免疫学・組織学実習	3後	1								4	4	
生薬・天然物化学実習	3前	2								4	8	
微生物学実習	3後	1								5	3	
生化学・分子生物学実習	3前	2			1			1		2	6	
衛生化学実習	3後	1			1	1				2	7	
薬理学実習	3前	1			1					2	3	
薬剤学実習	3後	1						1		2	5	
医薬品化学実習	3後	1				1				1	4	
卒業研究A	3後	2			4	3				6	28	
卒業研究B	4通	4			4	3				5	17	
自由科目	日本語Ⅶ(アカデミック日本語a)	2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(アカデミック日本語b)	2・3・4後			1						1	
	日本語Ⅶ(キャリア日本語a)	2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(キャリア日本語b)	2・3・4後			1						1	
	日本語Ⅶ(文章表現a)	1・2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(文章表現b)	1・2・3・4後			1						1	
	日本語Ⅶ(読解a)	1・2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(読解b)	1・2・3・4後			1						1	
	日本語Ⅶ(聴解口頭a)	1・2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(聴解口頭b)	1・2・3・4後			1						1	
	科学技術日本語Ⅰ	1・2・3・4前			1						1	
	科学技術日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1						1	
	単位互換科目	1・2・3・4			1						1	
	単位互換科目	1・2・3・4			2						2	
	単位互換科目	1・2・3・4			4						4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	修	由	授	教	師	教	手		
専門科目	生物統計学演習	2後	1								5	
	細胞生物学	2前	2							1		
	プロテオミクス	3前	2								1	
	薬理学A	2後	2							1	4	
	薬理学B	3前	2								1	
	薬理学C	3後	2			1						
	免疫学	2後	2								1	
	環境衛生学	3前	2							1	1	
	病態学A	2後	2								1	
	病態学B	3前	2								1	
	衛生化学	2後	2			1						
	毒性学	3後	2								1	
	バイオインフォマティクス	3前	2								1	
	システムバイオロジー	2後	2								2	
	ゲノム創薬科学	4前	2				1					
	ケミカルバイオロジー	2前	2								1	
	食品工学	4前	2								1	
	再生医療学	3後	2			1						
	分子神経科学	3後	2								2	5
	免疫薬品学	4前	2								2	5
	製剤学・物理薬剤学A	2後	2								1	
	製剤学・物理薬剤学B	3前	2								1	
	病原微生物学	3前	2								1	
	生物薬剤学	3前	2								1	
	日本薬局方概論	3前	2								1	
	薬物動態学	3後	2								1	
	薬物治療学A	3前	2								1	
	医薬品情報学	3後	2								1	
	薬物治療学B	3後	2								1	
	臨床薬剤学A	3後	2								1	
	薬物治療学C	4前	2								1	
	薬事法規・薬事制度	4前	2								1	
	医療倫理	4前	2								1	
	薬物送達学	3後	2								2	
	薬物治療学D	4前	2								1	
	医療薬学	4前	2								3	
	漢方医療薬学	4前	2								2	
	医薬品開発論	4前	2			1					3	
	臨床試験概論	4後	1								1	
医療統計学	4後	1								1		
分析化学実習A	1後	1							1	1	6	
分析化学実習B	1後	1							2	1	8	
物理化学実習A	2後	1							2	2	2	
物理化学実習B	2後	1							1	3	3	
有機化学実習A	2前	1								1	11	
有機化学実習B	2前	1								1	11	
免疫学・組織学実習	3後	1								4	4	
生薬・天然物化学実習	3前	2								4	8	
微生物学実習	3後	1								5	3	
生化学・分子生物学実習	3前	2			1				1	2	6	
衛生化学実習	3後	1			1	1				2	7	
薬理学実習	3前	1							1	2	3	
薬剤学実習	3後	1								1	5	
医薬品化学実習	3後	1				1				1	4	
卒業研究A	3後	2			4	3				6	28	
卒業研究B	4通	4			4	3				5	17	
自由科目	日本語Ⅶ(アカデミック日本語a)	2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(アカデミック日本語b)	2・3・4後			1						1	
	日本語Ⅶ(キャリア日本語a)	2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(キャリア日本語b)	2・3・4後			1						1	
	日本語Ⅶ(文章表現a)	1・2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(文章表現b)	1・2・3・4後			1						1	
	日本語Ⅶ(読解a)	1・2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(読解b)	1・2・3・4後			1						1	
	日本語Ⅶ(聴解口頭a)	1・2・3・4前			1						1	
	日本語Ⅶ(聴解口頭b)	1・2・3・4後			1						1	
	科学技術日本語Ⅰ	1・2・3・4前			1						1	
	科学技術日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1						1	
	単位互換科目	1・2・3・4			1						1	
	単位互換科目	1・2・3・4			2						2	
	単位互換科目	1・2・3・4			4						4	

【平成27年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
外国語科目	英語P1	1前	1								4
	英語P2	1後	1								4
	英語P3	2前	1								1
	英語P4	2後	1								1
	英語S1	1前	1								1
	英語S2	1後	1								1
	英語S3	2前	1								1
	英語S4	2後	1								1
	教養科目	哲学と人間	1-2-3-4後	2							
人間性と倫理		1-2-3-4前	2								1
心理学入門		1-2-3-4後	2								1
論理と思考		1-2-3-4前	2								1
社会思想史		1-2-3-4後	2								1
科学技術と倫理		1-2-3-4前	2								1
ジェンダー論		1-2-3-4前	2								1
宗教と社会		3-4後	2								1
メンタルヘルス		3-4後	2								1
社会学入門		1-2-3-4前	2								1
文化人類学入門		1-2-3-4前	2								2
文学と社会		1-2-3-4後	2								1
現代の教育		1-2-3-4前	2								1
世界の言語と文化		1-2-3-4前	2								4
美と芸術の論理		1-2-3-4前	2								1
メディアと現代文化		1-2-3-4前	2								1
現代社会と法		1-2-3-4後	2								1
市民と政治		1-2-3-4前	2								1
経済と社会		1-2-3-4前	2								1
企業と社会		1-2-3-4後	2								1
日本国憲法		1-2-3-4前	2								1
現代日本の政治		1-2-3-4前	2								2
現代の国際関係と日本		1-2-3-4後	2								1
現代の世界経済		1-2-3-4後	2								1
現代の経営		1-2-3-4前	2								2
社会と福祉		1-2-3-4後	2								2
災害と安全		1-2-3-4後	2								1
新しい日本史像		1-2-3-4前	2								1
中国の国家と社会		1-2-3-4前	2								1
東アジアと朝鮮半島		1-2-3-4後	2								1
ヨーロッパの歴史		1-2-3-4後	2								1
アメリカの歴史		1-2-3-4前	2								1
イスラーム世界の多様性		1-2-3-4後	2								1
宇宙科学		1-2-3-4前	2								1
地球科学		1-2-3-4後	2								1
科学と技術の歴史		1-2-3-4前	2								1
科学・技術と社会		1-2-3-4後	2								1
情報技術と社会		1-2-3-4後	2								1
平和学入門		1-2-3-4後	5								3
現代の人権		1-2-3-4前	1								2
日本の近現代と立命館		1-2後	1								9
戦争の歴史と現在		1-2-3-4前	1								1
国際平和と交流セミナー		1-2-3-4後	1								3
英語とアメリカ文化(海外留学プログラム)		1-2-3-4後	1								1
異文化理解セミナー(海外留学プログラム)		1-2-3-4後	1								1
文化・社会調査(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	3								1	
日豪関係Ⅰ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
日豪関係Ⅱ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
日豪関係Ⅲ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
日豪関係Ⅳ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
平和学Ⅰ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
平和学Ⅱ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
平和学Ⅲ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
平和学Ⅳ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	3								1	
平和学Ⅴ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	5								1	
環境と人間Ⅰ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
環境と人間Ⅱ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
環境と人間Ⅲ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
環境と人間Ⅳ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
環境と人間Ⅴ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	2								1	

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
			修	択	由	授	授	師	教	手	
外国語科目	英語P1	1前	1								5
	英語P2	1後	1								5
	英語P3	2前	1								4
	英語P4	2後	1								4
	英語S1	1前	1								1
	英語S2	1後	1								1
	英語S3	2前	1								1
	英語S4	2後	1								1
	教養科目	哲学と人間	1-2-3-4後	2							
人間性と倫理		1-2-3-4前	2								1
心理学入門		1-2-3-4後	2								1
論理と思考		1-2-3-4前	2								1
社会思想史		1-2-3-4後	2								1
科学技術と倫理		1-2-3-4前	2								1
ジェンダー論		1-2-3-4前	2								1
宗教と社会		3-4後	2								1
メンタルヘルス		3-4後	2								1
社会学入門		1-2-3-4前	2								1
文化人類学入門		1-2-3-4前	2								2
文学と社会		1-2-3-4後	2								1
現代の教育		1-2-3-4前	2								1
世界の言語と文化		1-2-3-4前	2								2
美と芸術の論理		1-2-3-4前	2								1
メディアと現代文化		1-2-3-4前	2								1
現代社会と法		1-2-3-4後	2								1
市民と政治		1-2-3-4前	2								1
経済と社会		1-2-3-4前	2								1
企業と社会		1-2-3-4後	2								1
日本国憲法		1-2-3-4前	2								1
現代日本の政治		1-2-3-4前	2								2
現代の国際関係と日本		1-2-3-4後	2								1
現代の世界経済		1-2-3-4後	2								1
現代の経営		1-2-3-4前	2								1
社会と福祉		1-2-3-4後	2								2
災害と安全		1-2-3-4後	2								1
新しい日本史像		1-2-3-4前	2								1
中国の国家と社会		1-2-3-4前	2								1
東アジアと朝鮮半島		1-2-3-4後	2								1
ヨーロッパの歴史		1-2-3-4後	2								1
アメリカの歴史		1-2-3-4前	2								1
イスラーム世界の多様性		1-2-3-4後	2								1
宇宙科学		1-2-3-4前	2								1
地球科学		1-2-3-4後	2								1
科学と技術の歴史		1-2-3-4前	2								1
科学・技術と社会		1-2-3-4後	2								1
情報技術と社会		1-2-3-4後	2								1
平和学入門		1-2-3-4後	5								3
現代の人権		1-2-3-4前	1								2
日本の近現代と立命館		1-2後	1								10
戦争の歴史と現在		1-2-3-4前	1								1
国際平和と交流セミナー		1-2-3-4後	1								3
英語とアメリカ文化(海外留学プログラム)		1-2-3-4後	1								1
異文化理解セミナー(海外留学プログラム)		1-2-3-4後	1								1
文化・社会調査(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	3								1	
日豪関係Ⅰ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
日豪関係Ⅱ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
日豪関係Ⅲ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	
日豪関係Ⅳ(海外留学プログラム)	1-2-3-4後	1								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	環境と人間Ⅵ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		3							1
	環境と人間Ⅶ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		5							1
	言語・文化・社会AⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅡ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅢ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅣ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅤ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅥ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅦ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅧ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅨ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅩ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	英語UBC・JP作文	2・3・4前		2							1
	カナダ研究(海外留学プログラム)	2・3・4前		4							1
	異文化間コミュニケーション(海外留学プログラム)	2・3・4前		4							1
	環太平洋研究(海外留学プログラム)	2・3・4前		4							1
	言語・文化・社会BⅠ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅡ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅢ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅣ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅤ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅥ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅦ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅧ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅨ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅠ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅡ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅢ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅣ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅤ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅥ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	海外スタディ	1・2・3・4後		2							1
	海外スタディ	1・2・3・4後		4							1
	日本の社会(未開講)	1・2・3・4前		2							1
	日本の文化(未開講)	1・2・3・4前		2							1
日本の経済(未開講)	1・2・3・4前		2							1	
日本の経営(未開講)	1・2・3・4前		2							1	
日本の自然(未開講)	1・2・3・4前		2							1	
日本の科学技術(未開講)	1・2・3・4前		2							1	
日本事情特殊講義(未開講)	1・2・3・4前		2							1	
日本事情入門Ⅰ(未開講)	1・2・3・4前		2							1	
日本事情入門Ⅱ(未開講)	1・2・3・4後		2							1	
日本語Ⅰ(未開講)	2・3・4前		2							1	
日本語Ⅱ(未開講)	2・3・4後		2							1	
留学生数学Ⅰ(未開講)	1・2・3・4前		2							1	
留学生数学Ⅱ(未開講)	1・2・3・4後		2							1	
留学生物理Ⅰ(未開講)	1・2・3・4前		2							1	
留学生物理Ⅱ(未開講)	1・2・3・4後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	言語・文化・社会AⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅡ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅢ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅣ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅤ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅥ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅦ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅧ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅨ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	言語・文化・社会AⅩ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		2							1
	英語UBC・JP作文	2・3・4前		2							1
	カナダ研究(海外留学プログラム)	2・3・4前		4							1
	異文化間コミュニケーション(海外留学プログラム)	2・3・4前		4							1
	環太平洋研究(海外留学プログラム)	2・3・4前		4							1
	言語・文化・社会BⅠ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅡ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅢ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅣ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅤ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅥ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅦ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅧ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅨ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅠ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
	言語・文化・社会BⅩⅡ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1
言語・文化・社会BⅩⅢ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1	
言語・文化・社会BⅩⅣ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1	
言語・文化・社会BⅩⅤ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1	
言語・文化・社会BⅩⅥ(海外留学プログラム)	2・3・4前		2							1	
言語・文化・社会CⅠ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		3							1	
言語・文化・社会CⅡ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		3							1	
言語・文化・社会CⅢ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		3							1	
言語・文化・社会CⅣ(海外留学プログラム)	1・2・3・4後		5							1	
海外スタディ	1・2・3・4後		2							1	
海外スタディ	1・2・3・4後		4							1	
日本語学	2・3・4前		2							1	
日本の文化・地理・歴史	1・2・3・4後		2							1	
日本の社会・政治	1・2・3・4後		2							1	
日本の経済・経営	1・2・3・4後		2							1	
日本の自然・科学技術	1・2・3・4前		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任 単位数
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	地域参加学習入門	1-2-3-4前	2								2
	シチズンシップ・スタディーズ I	1-2-3-4通	2								3
	シチズンシップ・スタディーズ II	2-3-4前	2								1
	シチズンシップ・スタディーズ I	1-2-3-4後	2								1
	シチズンシップ・スタディーズ II	2-3-4後	2								1
	全学インターンシップ	2-3-4後	2								1
	学びとキャリア	1-2-3-4前	2								1
	仕事とキャリア	2-3-4前	2								1
	社会とキャリア	3-4後	2								1
	スポーツの歴史と発展	1-2-3-4前	2								1
	スポーツと現代社会	1-2-3-4前	2								1
	スポーツのサイエンス	1-2-3-4後	2								1
	現代人とヘルスケア	1-2-3-4後	2								1
	スポーツ方法実習 I	1-2-3-4前	1								11
	スポーツ方法実習 II	1-2-3-4後	1								12
	教養ゼミナール	1-2-3-4前	2								16
	ピア・サポート論	2-3-4後	2								1
海外フィールドスタディ	1-2-3-4後	2								1	
海外フィールドスタディ	1-2-3-4後	4								1	
APU交流科目	2-3-4	2								1	
APU交流科目	2-3-4	4								1	
基礎科目	数学A(微分法)	1前	2								1
	数学B(積分法)	1後	2								1
	数学C(線形代数)	1前	2								1
	数学D(確率・統計)	1後	2								1
	数学演習A	1前	1								1
	数学演習B	1後	1								1
	物理学A	1前	2								1
	物理学B	1後	2								1
	生物科学	1前	2								1
	情報処理演習	1前	1				1				1
日本語表現法	1前	2								1	
専門科目	創薬科学基礎演習	1前	1			1	2		1		3
	創薬研究概論	1後	2			3	1				
	英語JP1	3前	2								1
	英語JP2	3後	2								1
	有機化学A	1前	2								1
	有機化学B	1後	2								1
	有機化学C	2前	2				1				
	有機化学D	2後	2								1
	物理化学A	1前	2								1
	物理化学B	1後	2				1				
	物理化学C	2前	2								1
	分析化学A	1前	2			1					
	機器分析化学	1後	2			1					1
	分析化学B	2前	2			1					
	医薬品製造学	3前	2				1				
	生体分子解析法	3前	2								1
	構造生物学	3後	2				1				
	生薬学	2前	2								1
	天然物化学	2後	2								1
	有機分子解析法	2前	2								1
	放射化学	2後	2				1				2
	和漢薬論	3後	2								1
	合成化学	3後	2				1				
	香粧品学	4前	2								1
	人体の構造と機能A	1後	2								1
	人体の構造と機能B	2前	2								1
	生化学A	1後	2								1
	生化学B	2前	2								1
	微生物学	2後	2								1
	分子生物学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2前	2			1					1
	生物統計学演習	2前	1					1			3
細胞生物学	2前	2				1					
プロテオミクス	3前	2								1	
薬理学A	2後	2								1	
薬理学B	3前	2								1	
薬理学C	3後	2			1						
免疫学	2後	2								1	
環境衛生学	3前	2			1						
病態学A	2後	2								1	
病態学B	3前	2								1	
衛生化学	2後	2			1						
毒性学	3後	2								1	
バイオインフォマティクス	3前	2								1	
システムバイオロジー	2後	2								2	
ゲノム創薬科学	4前	2			1						
ケミカルバイオロジー	2前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任 単位数
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
教養科目	地域参加学習入門	1-2-3-4前	2								2
	シチズンシップ・スタディーズ I	1-2-3-4通	2								3
	シチズンシップ・スタディーズ II	2-3-4前	2								1
	現代社会のフィールドワーク	1-2-3-4後	2								1
	ソーシャル・コラボレーション演習	2-3-4後	2								1
	全学インターンシップ	2-3-4後	2								3
	学びとキャリア	1-2-3-4前	2								1
	仕事とキャリア	2-3-4前	2								1
	社会とキャリア	3-4後	2								1
	スポーツの歴史と発展	1-2-3-4前	2								1
	スポーツと現代社会	1-2-3-4前	2								1
	スポーツのサイエンス	1-2-3-4後	2								1
	現代人とヘルスケア	1-2-3-4後	2								1
	スポーツ方法実習 I	1-2-3-4前	1								13
	スポーツ方法実習 II	1-2-3-4後	1								12
	教養ゼミナール	1-2-3-4前	2								24
	ピア・サポート論	2-3-4後	2								5
海外フィールドスタディ	1-2-3-4後	2								1	
海外フィールドスタディ	1-2-3-4後	4								1	
APU交流科目	2-3-4	2								1	
APU交流科目	2-3-4	4								1	
異文化間テーマ演習	1-2-3-4後	2								1	
基礎科目	数学A(微分法)	1前	2								1
	数学B(積分法)	1後	2								1
	数学C(線形代数)	1前	2								1
	数学D(確率・統計)	1後	2								1
	数学演習A	1前	1								1
	数学演習B	1後	1								1
	物理学A	1前	2								1
	物理学B	1後	2								1
	生物科学	1前	2								1
	情報処理演習	1前	1				1				1
日本語表現法	1前	2								1	
専門科目	創薬科学基礎演習	1前	1				2		2		2
	創薬研究概論	1後	2				3		1		
	英語JP1	3前	2								1
	英語JP2	3後	2								1
	有機化学A	1前	2								1
	有機化学B	1後	2								1
	有機化学C	2前	2					1			
	有機化学D	2後	2								1
	物理化学A	1前	2								1
	物理化学B	1後	2					1			
	物理化学C	2前	2								1
	分析化学A	1前	2			1					
	機器分析化学	1後	2			1					1
	分析化学B	2前	2			1					
	医薬品製造学	3前	2				1				
	生体分子解析法	3前	2								1
	構造生物学	3後	2					1			
	生薬学	2前	2								1
	天然物化学	2後	2								1
	有機分子解析法	2前	2								1
	放射化学	2後	2				1				2
	和漢薬論	3後	2								1
	合成化学	3後	2				1				
	香粧品学	4前	2								1
	人体の構造と機能A	1後	2								1
	人体の構造と機能B	2前	2								1
	生化学A	1後	2								1
	生化学B	2前	2								1
	微生物学	2後	2								1
	分子生物学	2前	2			1					
	公衆衛生学	2前	2			1					1
	生物統計学演習	2前	1					1			3
細胞生物学	2前	2				1					
プロテオミクス	3前	2								1	
薬理学A	2後	2								1	
薬理学B	3前	2								1	
薬理学C	3後	2			1						
免疫学	2後	2								1	
環境衛生学	3前	2			1						
病態学A	2後	2								1	
病態学B	3前	2								1	
衛生化学	2後	2			1						
毒性学	3後	2								1	
バイオインフォマティクス	3前	2								1	
システムバイオロジー	2後	2								2	
ゲノム創薬科学	4前	2									

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	食品工学	4前		2							1
	再生医療学	3後		2		1					
	分子神経科学	3後		2			1				
	免疫医薬品学	4前		2							1
	製剤学・物理薬剤学A	2後	2								1
	製剤学・物理薬剤学B	3前		2							1
	病原微生物学	3前		2							1
	生物薬剤学	3前	2								1
	日本薬局方概論	3前	2								1
	薬物動態学	3後		2							1
	薬物治療学A	3前		2							1
	医薬品情報学	3後		2							1
	薬物治療学B	3後		2							1
	臨床薬剤学A	3後		2							1
	薬物治療学C	4前		2							1
	薬事法規・薬事制度	4前		2							1
	医療倫理	4前		2							1
	薬物送達学	3後		2							1
	薬物治療学D	4前		2							1
	医療薬学	4前		2							1
	漢方医療薬学	4前		2							2
	医薬品開発論	4前		2		1					
	臨床試験概論	4後		1							1
	医療統計学	4後		1							1
	分析化学実習A	1後	1			3			1		4
	分析化学実習B	1後	1			2			1		7
	物理化学実習A	2後	1				1		1		2
	物理化学実習B	2後	1				1				3
	有機化学実習A	2前	1				1				3
	有機化学実習B	2前	1				1				3
	免疫学・組織学実習	3後	1								4
	生薬・天然物化学実習	3前	2								4
微生物学実習	3後	1								5	
生化学・分子生物学実習	3前	2			1			1		2	
衛生化学実習	3後	1			1	1				2	
薬理学実習	3前	1			1					4	
薬剤学実習	3後	1						1		4	
医薬品化学実習	3後		1			1					
卒業研究A	3後	2			4	3					
卒業研究B	4通	4			4	3					
自由科目	日本語Ⅷ(アカデミック日本語a)	2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅷ(アカデミック日本語b)	2・3・4後			1					1	
	日本語Ⅷ(キャリア日本語a)	2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅷ(キャリア日本語b)	2・3・4後			1					1	
	日本語Ⅶ(文章表現a)	1・2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅶ(文章表現b)	1・2・3・4後			1					1	
	日本語Ⅶ(読解a)	1・2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅶ(読解b)	1・2・3・4後			1					1	
	日本語Ⅶ(聴解口頭a)	1・2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅶ(聴解口頭b)	1・2・3・4後			1					1	
	科学技術日本語Ⅰ	1・2・3・4前			1					1	
	科学技術日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1					1	
	単位互換科目	1・2・3・4			1					1	
	単位互換科目	1・2・3・4			2					1	
	単位互換科目	1・2・3・4			4					1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	食品工学	4前		2							1
	再生医療学	3後		2		1					
	分子神経科学	3後		2			1				
	免疫医薬品学	4前		2							1
	製剤学・物理薬剤学A	2後	2								1
	製剤学・物理薬剤学B	3前		2							1
	病原微生物学	3前		2							1
	生物薬剤学	3前	2								1
	日本薬局方概論	3前	2								1
	薬物動態学	3後		2							1
	薬物治療学A	3前		2							1
	医薬品情報学	3後		2							1
	薬物治療学B	3後		2							1
	臨床薬剤学A	3後		2							1
	薬物治療学C	4前		2							1
	薬事法規・薬事制度	4前		2							1
	医療倫理	4前		2							1
	薬物送達学	3後		2							1
	薬物治療学D	4前		2							1
	医療薬学	4前		2							1
	漢方医療薬学	4前		2							2
	医薬品開発論	4前		2		1					
	臨床試験概論	4後		1							1
	医療統計学	4後		1							1
	分析化学実習A	1後	1						2		1
	分析化学実習B	1後	1						1	1	1
	物理化学実習A	2後	1				1				1
	物理化学実習B	2後	1				1				3
	有機化学実習A	2前	1				1				9
	有機化学実習B	2前	1				1				9
	免疫学・組織学実習	3後	1								4
	生薬・天然物化学実習	3前	2								4
微生物学実習	3後	1								5	
生化学・分子生物学実習	3前	2			1				1	2	
衛生化学実習	3後	1			1	1				2	
薬理学実習	3前	1			1					4	
薬剤学実習	3後	1						1		4	
医薬品化学実習	3後		1			1					
卒業研究A	3後	2			4	3					
卒業研究B	4通	4			4	3					
自由科目	日本語Ⅷ(アカデミック日本語a)	2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅷ(アカデミック日本語b)	2・3・4後			1					1	
	日本語Ⅷ(キャリア日本語a)	2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅷ(キャリア日本語b)	2・3・4後			1					1	
	日本語Ⅶ(文章表現a)	1・2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅶ(文章表現b)	1・2・3・4後			1					1	
	日本語Ⅶ(読解a)	1・2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅶ(読解b)	1・2・3・4後			1					1	
	日本語Ⅶ(聴解口頭a)	1・2・3・4前			1					1	
	日本語Ⅶ(聴解口頭b)	1・2・3・4後			1					1	
	科学技術日本語Ⅰ	1・2・3・4前			1					1	
	科学技術日本語Ⅱ	1・2・3・4後			1					1	
	単位互換科目	1・2・3・4			1					1	
	単位互換科目	1・2・3・4			2					1	
	単位互換科目	1・2・3・4			4					1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 ・ その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成27年度】

- ・教育課程充実のためのクラス増に伴い、「英語P1」の「兼1」を「兼4」に変更
- ・教育課程充実のためのクラス増に伴い、「英語P1」の「兼1」を「兼4」に変更
- ・全学の海外留学科目の再編による廃止のため、「アメリカ社会(海外留学プログラム)」の「兼1」を「兼0」に変更
- ・教育課程充実のため、「文化人類学入門」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「世界の言語と文化」の「兼1」を「兼4」に変更
- ・教育課程充実のため、「現代日本の政治」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「現代日本の政治」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「現代日本の政治」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「平和学入門」の「兼1」を「兼3」に変更
- ・教育課程充実のため、「現代の人権」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「日本の近現代と立命館」の「兼1」を「兼0」に変更
- ・教育課程充実のため、「地域参加学習入門」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「シズンシップ・スタディーズⅠ」の「兼1」を「兼3」に変更
- ・教育課程充実のため、「スポーツ方法実習Ⅰ」の「兼1」を「兼11」に変更
- ・教育課程充実のため、「スポーツ方法実習Ⅱ」の「兼1」を「兼12」に変更
- ・教育課程充実のため、「教養ゼミナール」の「兼1」を「兼16」に変更
- ・教育課程充実のため、「創薬科学基礎演習」の「兼0」を「兼3」に変更
- ・教育課程充実のため、「創薬研究概論」の「教授2」を「教授3」に変更
- ・隔年担当のため、「人体の構造と機能A」の「兼2」を「兼1」に変更
- ・教育課程充実のため、「分析化学実習A」の「兼0」を「兼4」に変更
- ・教育課程充実のため、「分析化学実習B」の「教授1」を「教授2」に、「兼2」を「兼7」に変更

【平成28年度】

- ・所属学部の都合によるクラス増に伴い、「英語P1」の「兼4」を「兼5」に変更
- ・所属学部の都合によるクラス増に伴い、「英語P2」の「兼4」を「兼5」に変更
- ・教育課程充実のためのクラス増に伴い、「英語P3」の「兼1」を「兼4」に変更
- ・教育課程充実のためのクラス増に伴い、「英語P4」の「兼1」を「兼4」に変更
- ・所属学部の都合によるクラス減に伴い、「世界の言語と文化」の「兼4」を「兼2」に変更
- ・所属学部の都合によるクラス減に伴い、「現代の経営」の「兼2」を「兼1」に変更
- ・教育課程充実のため、「日本の近現代と立命館」の「兼9」を「兼10」に変更
- ・全学の海外留学科目の再編により、「言語・文化・社会CⅠ(海外留学プログラム)」の「兼1」を追加
- ・全学の海外留学科目の再編により、「言語・文化・社会CⅠ(海外留学プログラム)」の「兼1」を追加
- ・全学の海外留学科目の再編により、「言語・文化・社会CⅠ(海外留学プログラム)」の「兼1」を追加
- ・全学の海外留学科目の再編により、「言語・文化・社会CⅠ(海外留学プログラム)」の「兼1」を追加
- ・全学の留学生科目の再編により、「日本語学」の「兼1」を追加
- ・全学の留学生科目の再編により、「日本の文化・地理・歴史」の「兼1」を追加
- ・全学の留学生科目の再編により、「日本の社会・政治」の「兼1」を追加
- ・全学の留学生科目の再編により、「日本の経済・経営」の「兼1」を追加
- ・全学の留学生科目の再編により、「日本の自然・科学技術」の「兼1」を追加
- ・教育課程充実のため、「全学インターンシップ」の「兼1」を「兼3」に変更
- ・教育課程充実のため、「スポーツ方法実習Ⅰ」の「兼11」を「兼13」に変更
- ・教育課程充実のため、「教養ゼミナール」の「兼16」を「兼24」に変更
- ・教育課程充実のため、「ピアサポート論」の「兼1」を「兼5」に変更
- ・教育課程充実のため、「異文化間テーマ演習」の「兼1」を追加
- ・教育課程充実のため、「創薬科学基礎演習」の「教授1」を「教授2」および、「兼3」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「機器分析化学」の「兼0」を「兼1」に変更
- ・教育課程充実のため、「生物統計学演習」の「准教授0」から「准教授1」に変更
- ・時間割編成および教員体制の都合により、「生物統計学演習」の開講期間を「2前」から「2後」に変更
- ・教育課程充実のため、「システムバイオロジー」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「分析化学実習A」の「教授3」を「教授2」および「兼4」を「兼6」に変更
- ・教育課程充実のため、「分析化学実習B」の「教授2」を「教授1」、「准教授0」を「准教授1」および「兼7」を「兼9」に変更
- ・受講生数に合わせ、「物理化学実習A」の「兼2」を「兼1」に変更
- ・教育課程充実のため、「有機化学実習A」の「兼3」を「兼9」に変更
- ・教育課程充実のため、「有機化学実習B」の「兼3」を「兼9」に変更

【平成29年度】

- ・所属学部の都合によるクラス増に伴い、「英語P3」の「兼4」を「兼5」に変更
- ・所属学部の都合によるクラス増に伴い、「英語P4」の「兼4」を「兼5」に変更
- ・教育課程充実のためのクラス増に伴い、「経済と社会」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のためのクラス増に伴い、「現代の世界経済」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・所属学部の都合により、「シズンシップ・スタディーズⅠ」の「兼3」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「全学インターンシップ」の「兼3」を「兼4」に変更
- ・教育課程充実のため、「スポーツ方法実習Ⅰ」の「兼13」を「兼16」に変更
- ・所属学部の都合により、「教養ゼミナール」の「兼24」を「兼21」に変更
- ・全学の海外留学科目の再編による廃止のため、「英語UBC・JP作文」の「兼1」を「兼0」に変更
- ・教育課程充実のため、「Understanding Language」の「兼1」を追加
- ・教育課程充実のため、「Introduction to Computational Linguistics」の「兼1」を追加
- ・教育課程充実のため、「History of Computing」の「兼1」を追加
- ・教育課程充実のため、「Language in Politics」の「兼1」を追加
- ・教育課程充実のため、「Computers in Education」の「兼1」を追加
- ・教育課程充実のため、「Digital Archives: Applications of ICT to the Humanities」の「兼1」を追加
- ・教育課程充実のため、「Introduction to Economics」の「兼1」を追加
- ・教育課程充実のため、「Non-verbal Communication」の「兼1」を追加
- ・所属学部の都合により、「生物科学」の「兼1」を「助教1」に変更
- ・担当教員の職位変更により、「情報処理演習」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更
- ・教育課程充実のため、「英語JP1」の「兼1」を「兼6」に変更
- ・教育課程充実のため、「英語JP2」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・担当教員の職位変更により、「物理化学B」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更
- ・所属学部の都合により、「物理化学C」の「兼1」を「教授1」に変更
- ・所属学部の都合により、「機器分析化学」の「兼1」を「兼0」に変更
- ・担当教員の職位変更により、「構造生物学」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更
- ・教育課程充実のため、「有機分子解析法」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・担当教員の職位変更により、「放射化学」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更
- ・担当教員の職位変更により、「細胞生物学」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更
- ・所属学部の都合により、「環境衛生学」の「教授1」を「教授0」に、「兼0」を「兼1」に変更
- ・担当教員の職位変更により、「分子神経科学」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更および、教育課程充実のため、「兼0」を「兼1」に変更
- ・所属学部の都合により、「分析化学実習A」の「教授2」を「教授1」、「兼6」を「兼7」に変更
- ・担当教員の職位変更および、所属学部の都合により、「分析化学実習B」の「教授1」を「教授2」、「准教授1」を「准教授0」、「助教1」を「助教0」、「兼9」を「兼10」に変更
- ・担当教員の職位変更および、退職により、「物理化学実習A」の「教授0」を「教授2」、「准教授1」を「准教授0」、「助教1」を「助教0」に変更
- ・担当教員の職位変更により、「物理化学実習B」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更
- ・教育課程充実のため、「免疫学・組織学実習」の「助教0」を「助教1」に変更
- ・教育課程充実のため、「生薬・天然物化学実習」の「兼4」を「兼8」に変更
- ・教育課程充実のため、「微生物学実習」の「兼5」を「兼7」に変更
- ・担当教員退職および、退職により、教育課程充実のため、「生化学・分子生物学実習」の「助教1」を「助教0」、「兼2」を「兼8」に変更
- ・担当教員の職位変更、退職および教育課程の充実のため、「衛生化学実習」の「教授1」を「教授2」、「准教授1」を「准教授0」、「兼2」を「兼4」に変更、および時間割編成により、配当年次の「3後」を「3前」に変更
- ・教育課程充実のため、「薬理学実習」の「兼4」を「兼7」に変更および、時間割編成により、配当年次の「3前」を「3後」に変更
- ・教育課程充実のため、「薬剤学実習」の「兼4」を「兼6」に変更
- ・教育課程充実のため、「医薬品化学実習」の「兼0」を「兼3」に変更
- ・担当教員の職位変更および、教育課程充実のため、「卒業研究A」の「教授4」を「教授6」、「准教授3」を「准教授1」、「助教0」を「助教1」、「兼0」を「兼29」に変更

【平成30年度】

- ・教育課程充実のためのクラス増に伴い、「メンタルヘルス」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・所属学部都合により、「現代日本の政治」の「兼2」から「兼1」に変更
- ・所属学部都合により、「国際平和交流セミナー」の「兼3」を「兼2」に変更
- ・全学の海外留学科目の再編による廃止のため、「英語とアメリカ文化（海外留学プログラム）」の「兼1」を「兼0」に変更
- ・所属学部都合により、「地域参加学習入門」の「兼2」を「兼1」に変更
- ・教育課程充実のため、「全学インターンシップ」の「兼4」を「兼5」に変更
- ・所属学部都合により、「スポーツ方法実習Ⅰ」の「兼16」を「兼15」に変更
- ・教育課程充実のため、「スポーツ方法実習Ⅱ」の「兼12」を「兼14」に変更
- ・所属学部都合により、「教養ゼミナール」の「兼21」を「兼18」に変更
- ・所属学部都合により、「ピア・サポート論」の「兼5」を「兼3」に変更
- ・教養教育課程充実のため、「特殊講義（実践データ科学1）」の「兼1」を追加
- ・教養教育課程充実のため、「特殊講義（実践データ科学2）」の「兼1」を追加
- ・所属学部都合により、「数学演習B」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・所属学部都合により、「生物科学」の「助教1」を「助教0」、「兼0」を「兼1」に変更
- ・所属学部都合により、「創薬科学基礎演習」の「教授2」を「教授5」、「准教授2」を「准教授0」、「助教1」を「助教0」、「兼2」を「兼3」に変更
- ・教育課程充実のため、「創薬研究概論」の「兼0」を「兼1」に変更
- ・教育課程充実のため、「英語JP1」の「兼6」を「兼8」に変更
- ・教育課程充実のため、「物理化学C」の「兼0」を「兼1」に変更
- ・所属学部都合により、「機器分析化学」の「教授1」を「教授0」、「兼0」を「兼1」に変更
- ・教育課程充実のため、「生体分子解析法」の「兼1」を「兼3」に変更
- ・教育課程充実のため、「和漢薬論」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「合成化学」の「兼0」を「兼1」に変更
- ・教育課程充実のため、「香粧品学」の「兼1」を「兼5」に変更
- ・教育課程充実のため、「公衆衛生学」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・所属学部都合により、「生物統計学演習」の「准教授1」を「准教授0」、「助教1」を「助教0」、「兼3」を「兼5」に変更
- ・所属学部都合により、「薬理学A」の「教授0」から「教授1」、「兼1」から「兼0」に変更
- ・教育課程充実のため、「分子神経科学」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「免疫医薬品学」の「兼1」を「兼5」に変更
- ・教育課程充実のため、「薬物送達学」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「医療薬学」の「兼1」を「兼3」に変更
- ・教育課程充実のため、「医薬品開発論」の「兼0」を「兼3」に変更
- ・所属学部都合により、「分析化学実習A」の「兼7」を「兼6」に変更
- ・所属学部都合により、「分析化学実習B」の「助教0」を「助教1」、「兼10」を「兼8」に変更
- ・教育課程充実のため、「物理化学実習A」の「兼1」を「兼2」に変更
- ・教育課程充実のため、「有機化学実習A」の「兼9」を「兼11」に変更
- ・教育課程充実のため、「有機化学実習B」の「兼9」を「兼11」に変更
- ・所属学部都合により、「免疫学・組織学実習」の「助教1」を「助教0」に変更
- ・所属学部都合により、「微生物学実習」の「兼7」を「兼3」に変更
- ・所属学部都合により、「生化学・分子生物学実習」の「助教0」を「助教1」、「兼8」を「兼6」に変更
- ・所属学部都合により、「衛生化学実習」の「助教0」を「助教1」、「兼4」を「兼3」に変更
- ・所属学部都合により、「薬剤学実習」の「助教1」を「助教0」、「兼6」を「兼5」に変更
- ・教育課程充実のため、「医薬品化学実習」の「兼3」を「兼4」に変更
- ・所属学部都合により、「卒業研究A」の「兼29」を「兼28」に変更
- ・担当教員の職位変更および、教育課程充実のため、「卒業研究B」の「教授4」を「教授5」、「准教授3」を「准教授1」、「助教0」を「助教1」、「兼0」を「兼17」に変更

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
49 科目	188 科目	15 科目	252 科目	49 科目 []	178 科目 [Δ10]	15 科目 []	242 科目 [Δ10]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	英語とアメリカ文化 (海外留学プログラム)	1	1・2・3・4 後	一般教養	選択	全学の海外留学科目の再編の為

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

全学の海外留学科目の再編により廃止となったが、他に同国・地域への留学科目も開講しており学生への影響は無い。学生には特に廃止科目に限った周知はしていない(募集プログラムで提示)。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{252} = \boxed{0.39} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
	校舎敷地	921,395.92㎡ 920,840.79㎡ 914,530.65㎡ 820,593.14㎡	0㎡	0㎡	921,395.92㎡ 920,840.79㎡ 914,530.65㎡ 820,593.14㎡	その他敷地より校舎敷地へ変更555.13㎡増(30) 大阪いばらきキャンパス 地積更正による面積増 6,790.14㎡増(28) 究論館 2,441.65㎡増 大阪いばらきキャンパス(OIC) 91,495.86㎡増(27)
	運動場用地	93,310.74㎡ 84,238.74㎡	0㎡	0㎡	93,310.74㎡ 84,238.74㎡	OICフィールド 9,072㎡増(27)
	小 計	1,014,706.66㎡ 1,014,151.53㎡ 1,007,841.39㎡ 904,831.88㎡	0㎡	0㎡	1,014,706.66㎡ 1,014,151.53㎡ 1,007,841.39㎡ 904,831.88㎡	
	そ の 他	390,346.81㎡ 389,742.12㎡ 389,585.86㎡ 389,264.23㎡ 476,719.26㎡	0㎡	0㎡	390,346.81㎡ 389,742.12㎡ 389,585.86㎡ 389,264.23㎡ 476,719.26㎡	面積錯誤修正142㎡減 OIC寄宿舎 1,301.82㎡増 校舎敷地へ変更 555.13㎡減(30) 衣笠キャンパス隣接地 156.26㎡増(29) 衣笠キャンパス隣接地 321.63㎡増(28)
合 計	1,405,053.47㎡ 1,403,893.65㎡ 1,403,737.39㎡ 1,397,105.62㎡ 1,381,551.14㎡	0㎡	0㎡	1,405,053.47㎡ 1,403,893.65㎡ 1,403,737.39㎡ 1,397,105.62㎡ 1,381,551.14㎡	旧西川邸 325.88㎡増 位置指定道路229.55㎡増、その他からOIC分を校舎敷地および運動場用地へ(27)	
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
		527,560.65㎡ 527,355.61㎡ 534,329.59㎡ 519,744.38㎡ 402,184.48㎡	0㎡	0㎡	527,560.65㎡ 527,355.61㎡ 534,329.59㎡ 519,744.38㎡ 402,184.48㎡	エレベータ増築、屋外トイレ、事務所 205.04㎡増(30) 図書館解体、トイレ解体 6,987.86㎡減 倉庫 13.88㎡増(29) 平井嘉一郎記念図書館 14,585.21㎡増(28) 究論館3,693.85㎡増、 トリア 6,578.60㎡増、 ハイツ9,803.15㎡増、 危険物倉庫 98.82㎡増、OIC 97,385.48㎡増(27)
		(402,184.48㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(402,184.48㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	129室 128室 122室 95室	560室 528室 515室 513室 411室	802室 796室 768室 791室 688室	39室 41室 40室 32室	21室 29室	存心館、興学館、コーニンクⅢ、アコースティング、OIC A棟の改修工事に伴い、講義室、演習室、実験実習室の増、語学学習施設の減(30) 明学館、洋洋館、学而館、コⅡ、クリアの改修工事に伴い講義室、演習室、実験実習室の増、情報処理学習施設の減(29) 教室： イーストウイング、ウエストウイング、サイエンス7、クリエイション7の改修工事に伴い演習室増、実験実習室減、情報処理学習施設増(28) 究論館、トリシア、バイオリンク、OIC建設による増(27) 職員： 従事職員数の変更によるもの。(30) 従事職員数の変更によるもの。(29) 従事職員数の変更によるもの。(28) 従事職員数の変更によるもの。(27)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室数					
		薬学部 創薬科学科		8 室					
図書・設備	新設学部等の名称	図書	学術雑誌	視聴覚資料	機械・器具	標本	薬学研究科と共用		
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種					電子ジャーナル〔うち外国書〕	点
	薬学部 創薬科学科	23,045[3,331] 21,545〔3,176〕 20,099〔2,894〕 19,430〔2,865〕	7,659[6,516] 5,284〔5,104〕 6,281〔6,136〕	7,431[6,498] 5,162〔5,090〕 6,148〔6,026〕	501 498 497	—		—	図書・学術雑誌、視聴覚資料の増加分は新規購入による。(30)
		23,045[3,331] 21,545〔3,176〕 20,099〔2,894〕 19,431〔2,865〕 (19,430〔2,865〕)	7,659[6,516] 5,284〔5,104〕 6,281〔6,136〕 (6,281〔6,136〕)	7,431[6,498] 5,162〔5,090〕 6,148〔6,026〕 (6,148〔6,026〕)	501 498 (497)	(—)		(—)	図書・視聴覚資料の増加分は新規購入による。雑誌・電子ジャーナルの減少分は契約タイトル数の変更による。(29)
計	23,045[3,331] 21,545〔3,176〕 20,099〔2,894〕 19,431〔2,865〕 (19,430〔2,865〕)	7,659[6,516] 5,284〔5,104〕 6,281〔6,136〕 (6,281〔6,136〕)	7,431[6,498] 5,162〔5,090〕 6,148〔6,026〕 (6,148〔6,026〕)	501 498 497	—	—	図書・雑誌・視聴覚資料の増加分は新規購入による。電子ジャーナルの減少分は契約タイトル数の変更による。(28)		
	23,045[3,331] 21,545〔3,176〕 20,099〔2,894〕 19,431〔2,865〕 (19,430〔2,865〕)	7,659[6,516] 5,284〔5,104〕 6,281〔6,136〕 (6,281〔6,136〕)	7,431[6,498] 5,162〔5,090〕 6,148〔6,026〕 (6,148〔6,026〕)	501 498 (497)	(—)	(—)			
(6) 図書館	面積		閲覧座席数	収納可能冊数		大学全体			
	44,148.91㎡ 38,093.64㎡ 29,616㎡		5,423席 5,441席 5,443席 5,330席 4,220席	4,574,000冊 4,459,000冊 3,871,844冊 3,188,083冊 3,186,194冊		レイアウト変更等による座席数減。(30) 図書館移転にともなう増床等。(29) 図書館移転にともなう増床等。(28) 新キャンパス図書館開設。(27)			

(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					スポーツ健康コンパス 4,579.01㎡増(29) 大学全体 OIC 7,841.47㎡増(27)	
	27,540.62㎡ 22,961.61㎡ 15,120.14㎡		冬 野 室 内 練 習 場 鉄骨造鋼板葺平屋建2,025㎡						
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費等は理工学 研究所の経費を記載し ている。 図書購入費には、電子 ジャーナル、データ ベース等を含む。 決算の確定による(29) 学費改定のため(28)
		教員1人当り研究費等	3,316千円 3,410千円	3,436千円	図書購入費	0千円	1,465千円 1,644千円	6,521千円	
	共同研究費等	24,085千円 24,767千円	25,140千円	設備購入費	0千円	4,730千円 2,574千円	10,280千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	1,921千円 1,890千円	1,781千円 1,750千円	1,781千円 1,750千円	1,781千円 1,750千円	—千円	—千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			手数料収入、寄付金収入及び補助金収入等により維持する。						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	立命館大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学定員	収容員	学位又は称号	平均入定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
法学部 法学科	4	755	—	3,125	学士(法学)	1.02	昭和23年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成30年度入定員減(▲35人)
経済学部 経済学科	4	795	—	2,660	学士(経済学)	1.03	昭和23年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入定員増(260人)
国際経済学科	4	—	—	—	学士(経済学)	—	平成18年度		平成29年度より学生募集停止
経営学部 経営学科	4	675	—	2,570	学士(経営学)	1.01	昭和37年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	平成29年度入定員増(65人)
国際経営学科	4	150	—	600	学士(経営学)	1.00	平成18年度		
産業社会学部 現代社会学科	4	810	—	3,510	学士(社会学)	1.04	平成19年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成30年度入定員減(▲80人)
現代社会専攻 メディア社会専攻 スポーツ社会専攻 人間福祉専攻	4	760	—	3,280	学士(社会学)	1.05	平成19年度		
子ども社会専攻	4	50	—	230	学士(社会学)	1.04	平成19年度		
文学部 人文学科	4	980	—	3,970	学士(文学)	1.02	平成16年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	平成28年度入定員減(▲200人) 平成29年度入定員増(75人)
理工学部 電気電子工学科	4	154	3年次12	616	学士(工学)	1.02	昭和24年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入定員増(12人)
機械工学科	4	173	3年次10	686	学士(工学)	1.00	昭和24年度		平成29年度入定員増(13人)
環境都市工学科	4	166	—	166	学士(工学)	0.93	平成30年度		
都市システム工学科	4	—	3年次2	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成30年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成32年度より学生募集停止)
環境システム工学科	4	—	3年次2	—	学士(工学)	—	平成6年度		平成30年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成32年度より学生募集停止)
電子光情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成8年度		平成24年度より学生募集停止
ロボティクス学科	4	90	3年次6	358	学士(工学)	1.07	平成8年度		平成29年度入定員増(7人)

数理科学科	4	97	—	374	学士(理学)	0.98	平成12年度		平成29年度入学定員増(7人)
物理科学科	4	86	—	332	学士(理学)	0.98	平成12年度		平成29年度入学定員増(6人)
電子情報工学科	4	102	3年次 8	408	学士(工学)	0.97	平成16年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入学定員増(8人)
マイカ機械システム工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成24年度より学生募集停止
建築都市デザイン学科	4	91	3年次 16	354	学士(工学)	1.03	平成16年度		平成29年度入学定員増(21人)
国際関係学部						0.97			
国際関係学科	4	335	—	1,280	学士(国際関係学)	0.98	昭和63年度		平成29年度入学定員増(30人)
アメリカン大学・立命館大学国際関係学科	4	25	—	25	学士(グローバル国際関係学) (Bachelor of Arts in Global International Relations)	0.20	平成30年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
政策科学部									平成29年度入学定員増(50人)
政策科学科	4	410	—	1,540	学士(政策科学)	1.02	平成6年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
情報理工学部						1.01			
情報理工学科	4	475	—	950	学士(工学)	0.97	平成29年度		平成29年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止)
情報システム学科	4	—	3年次 10	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止)
情報コミュニケーション学科	4	—	3年次 10	—	学士(工学)	—	平成16年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止)
メディア情報学科	4	—	3年次 10	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止)
知能情報学科	4	—	3年次 10	—	学士(工学)	—	平成16年度		平成29年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成31年度より学生募集停止)
映像学部									平成29年度入学定員増(10人)
映像学科	4	160	—	620	学士(映像学)	1.05	平成19年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
薬学部						1.05 0.92			
薬学科	6	100	—	600	学士(薬学)	1.05	平成20年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
創薬科学科	4	60	—	240	学士(薬科学)	0.92	平成27年度		

生命科学部						1.00			
応用化学科	4	111	—	382	学士(理学) 学士(工学)	1.01	平成20年度		平成29年度入学定員増(31人)
生物工学科	4	86	—	332	学士(工学)	0.99	平成20年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	平成29年度入学定員増(6人)
生命情報学科	4	64	—	248	学士(理学) 学士(工学)	0.93	平成20年度		平成29年度入学定員増(4人)
生命医科学科	4	64	—	248	学士(理学)	1.03	平成20年度		平成29年度入学定員増(4人)
スポーツ健康科学部									平成29年度入学定員増(15人)
スポーツ健康科学科	4	235	—	910	学士(スポーツ健康科学)	1.04	平成22年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
総合心理学部									
総合心理学科	4	280	—	840	学士(心理学)	1.09	平成28年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
食マネジメント学部									
食マネジメント学科	4	320	—	320	学士(食マネジメント)	1.10	平成30年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
法学研究科									
法学専攻									
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士(法学)	0.20	昭和25年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
博士課程後期課程	3	10	—	30	博士(法学)	0.16	昭和28年度		
経済学研究科									
経済学専攻									
博士課程前期課程	2	50	—	100	修士(経済学)	0.68	昭和25年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
博士課程後期課程	3	5	—	15	博士(経済学)	1.06	昭和39年度		
経営学研究科									
企業経営専攻									
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士(経営学)	0.59	昭和41年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(経営学)	0.06	昭和41年度		
社会学研究科									
応用社会学専攻									
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士(社会学)	0.47	昭和47年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(社会学)	0.55	昭和49年度		
文学研究科									
人文学専攻									
博士課程前期課程	2	70	—	140	修士(文学)	0.56	平成18年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
博士課程後期課程	3	20	—	60	博士(文学)	0.68	平成18年度		

行動文化情報学専攻									
博士課程前期課程	2	35	—	70	修士(文学)	0.42	平成26年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(文学)	0.19	平成26年度		
理工学研究科									
基礎理工学専攻									
博士課程前期課程		50	—	100	修士(理学) 修士(工学)	0.74	平成18年度		
博士課程後期課程		6	—	18	博士(理学) 博士(工学)	0.77	平成24年度		
電子システム専攻									
博士課程前期課程		140	—	320	修士(工学)	0.77	平成24年度		平成30年度入学定 員減(▲40人)
博士課程後期課程		8	—	24	博士(工学)	0.33	平成24年度		
機械システム専攻								滋賀県草津市野路 東1丁目1番1号	
博士課程前期課程		140	—	280	修士(工学)	0.85	平成24年度		
博士課程後期課程		11	—	33	博士(工学)	0.39	平成24年度		
環境都市専攻									
博士課程前期課程		120	—	200	修士(工学)	0.82	平成24年度		平成30年度入学定 員増(40人)
博士課程後期課程		15	—	45	博士(工学)	0.26	平成24年度		
総合理工学専攻									
博士課程後期課程		—	—	—	博士(理学) 博士(工学)	—	平成8年度		平成24年度学生募 集停止
国際関係研究科									
国際関係学専攻									
博士課程前期課程	2	60	—	120	修士(国際関 係学)	0.62	平成4年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	
博士課程後期課程	3	10	—	30	博士(国際関 係学)	0.76	平成6年度		
政策科学研究科									
政策科学専攻									
博士課程前期課程	2	40	—	80	修士(政策科 学)	0.74	平成9年度	大阪府茨木市岩倉 町2番150号	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(政策科 学)	0.41	平成11年度		
応用人間科学研究科									
応用人間科学専攻									
修士課程	2	—	—	—	修士(人間科 学)	—	平成13年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	平成30年学生募集 停止
言語教育情報研究科									
言語教育情報専攻									
修士課程	2	60	—	120	修士(言語教 育情報学)	0.73	平成15年度	京都府京都市北区 等持院北町56番地 の1	

テクノロジー・マネジメント研究科									
テクノロジー・マネジメント専攻									
博士課程前期課程	2	70	—	140	修士(技術経営)	0.76	平成17年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
博士課程後期課程	3	5	—	15	博士(技術経営)	1.60	平成18年度		
公務研究科									
公共政策専攻									
修士課程	2	—	—	—	修士(公共政策)	—	平成19年度	京都府京都市中京区西ノ京東栞尾町8番地	平成30年学生募集停止
スポーツ健康科学研究科									
スポーツ健康科学専攻									
博士課程前期課程	2	25	—	50	修士(スポーツ健康科学)	0.82	平成22年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
博士課程後期課程	3	8	—	24	博士(スポーツ健康科学)	1.08	平成24年度		
映像研究科									
映像専攻									
修士課程	2	10	—	20	修士(映像)	0.70	平成23年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
情報理工学研究科									
情報理工学専攻									
博士課程前期課程	2	200	—	400	修士(工学)	0.81	平成24年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(工学)	0.59	平成24年度		
生命科学研究科									
生命科学専攻									
博士課程前期課程	2	150	—	300	修士(理学) 修士(工学)	0.87	平成24年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
博士課程後期課程	3	15	—	45	博士(理学) 博士(工学)	0.70	平成24年度		
先端総合学術研究科									
先端総合学術専攻									
一貫制博士課程	5	30	—	150	博士(学術)	0.22	平成15年度	京都府京都市北区等持院北町56番地の1	
薬学研究科									
薬学専攻									
博士課程	4	3	—	12	博士(薬学)	0.99	平成26年度	滋賀県草津市野路東1丁目1番1号	
人間科学研究科									
人間科学専攻									
博士課程前期課程	2	65	—	65	修士(人間科学) 修士(心理学)	0.92	平成30年度	大阪府茨木市岩倉町2番150号	
博士課程後期課程	3	20	—	20	博士(人間科学) 博士(心理学)	1.15	平成30年度		

法務研究科													京都府京都市中京区西ノ京東栞尾町8番地
法曹養成専攻													
専門職学位課程	3	70	—	210	法務博士(専門職)	0.37	平成16年度						
経営管理研究科													大阪府茨木市岩倉町2番150号
経営管理専攻													
専門職学位課程	2	80	—	160	経営修士(専門職)	0.50	平成18年度						
教職研究科													京都府京都市中京区西ノ京東栞尾町8番地
実践教育専攻													
専門職学位課程	2	35	—	70	教職修士(専門職)	0.99	平成29年度						
大学の名称	立命館アジア太平洋大学											備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地					
アジア太平洋学部	年	人	年次人	人		倍							
アジア太平洋学科	4	660	2年次12 3年次18	2,592	学士(アジア太平洋学)	0.97	平成12年度		平成29年度入学定員増(60人)(アジア太平洋学部アジア太平洋学科)				
国際経営学部													
国際経営学科	4	660	2年次22 3年次31	2,648	学士(経営学)	0.87	平成12年度		平成29年度入学定員増(60人)(国際経営学部国際経営学科)				
アジア太平洋研究科													
アジア太平洋学専攻													
博士課程前期課程	2	15	—	30	修士(アジア太平洋学)	0.89	平成15年度	大分県別府市十文字原1丁目1番					
博士課程後期課程	3	10	—	30	博士(アジア太平洋学)	0.43	平成15年度						
国際協力政策専攻													
博士課程前期課程	2	45	—	90	修士(国際協力政策)	0.44	平成15年度						
経営管理研究科													
修士課程	2	40	—	80	修士(経営管理)	0.67	平成15年度						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
 - ・AC対象学部等については、必ず記入するとともに、下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (26年6月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (28年2月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (29年2月)	該当なし	該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし	該当なし	該当なし

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<薬学部 創薬科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	—

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学では、学部・研究科に共通する教学に関わる事項について審議を行うための全学的機関として、教学委員会を設置している。教学委員会は、教学部長が主宰し、各学部・研究科の副学部長・副研究科長が出席し、毎年度の各学部・研究科の教学上の総括および次年度計画を策定・承認している。ここでは、FD活動についても毎年度の方針に基づく総括、次年度計画をまとめている。本学では、FD活動を「建学の精神と教学理念を踏まえ、学部・研究科・教学機関が掲げる理念と教育目標を実現するために、カリキュラムや個々の授業についての配置・内容・方法・教材・評価等の適切性に関して教員が職員と協働し、学生の参画を得て、組織的な研究・研修を推進するとともに、それらの取組の妥当性、有効性について継続的に検証を行い、さらなる改善に活かしていく活動」と定義している。教育の質的向上のために、各学部・研究科においてFD活動を行うとともに、教学部が主催して教学実践フォーラムや懇談会等を実施し取組を共有している。 2. 全学的には教育開発推進機構（以下「機構」という。）を設置し（「立命館大学教育開発推進機構規程」第2条）、その下に教育・学修支援センター（以下「センター」という）を置いて、学部・研究科の取組を支援している（同第4条）。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教学委員会は隔週月曜日に実施し、全学部・研究科の副学部長・副研究科長が出席している。（教学委員会規程） 2. 機構は、日常的運営を行うため、教育・学修支援センター会議（「センター会議」）を置いている（立命館大学教育開発推進機構規程第10条、第12条）。 構成員は、教育・学修支援センター長（委員長）、教育・学修支援センター副センター長（副センター長）、教学部副部長（事務局長）、一貫教育部副部長、一貫教育部教育研究・研修センター長、機構所属教員（嘱託講師を除く）、教学部次長、機構長が任命する教職員（以上委員）である。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教学委員会（教学委員会規程第2条） <ol style="list-style-type: none"> (1) 教学の基本方針に関する事項（カリキュラム改革、毎年度の開講方針および教学総括等） (2) 学部と研究科に共通する教学および教務事項 等 2. センター会議（立命館大学教育開発推進機構規程第11条） <ol style="list-style-type: none"> (1) 機構およびセンターの活動方針および総括に関する事項 (2) センターが行う事業の基本方針に関する事項 等 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 教学実践フォーラム、FD懇親会の開催 2. 新任専任教員対象の「実践的FDプログラム」の実施 3. 授業アンケートの実施、分析、授業改善に関わる担当者と受講生間の意見交換の実施 4. 学びと成長調査の実施、分析を通じた学生実態把握と教育上の課題の共有 5. 『ITL (Institute for Teaching and Learning) News』、紀要『立命館高等教育研究』を通じた教育に関する実践報告や授業研究の共有 6. 教学総括・計画概要の策定、自己点検・評価報告書の作成の支援を通じた教学PDCAサイクルの確立
--

b 実施方法

1. 教学実践フォーラム、FD懇親会の開催
 - ・留学の質保証、カリキュラム・マップ、ツリーの取組み、高等学校教育の変化、次期学習指導要領のもとでの授業の変化、および大学入試の方向性について
2. 新任専任教員対象の「実践的FDプログラム」の実施
 - ・新任の専任教員を対象として、ガイダンス、ワークショップ、発表会、コンサルテーション等を1年間（最長2年間）実施
3. 授業改善に関わる担当者と受講生間の意見交換の実施
 - ・個別授業の授業改善、組織的な教学改善、学生への説明責任を目的として、大学全体で統一した書式により授業アンケートを実施。Webコースツールのアンケート機能も活用する。各授業の中盤にWebコースツールや「コミュニケーション・ペーパー」「インタラクティブシート」等を活用した授業改善に向けた意見交換を実施（希望する教員）
4. 学びと成長調査の実施、分析を通じた学生実態把握と教育上の課題の共有
 - ・学生の学びと成長調査（アンケート）設計、実施、分析と教学委員会への報告
5. 『ITL (Institute for Teaching and Learning) News』を通じた実践の共有および紀要『立命館高等教育研究』の発行を通じた教育に関する実践報告や授業研究の共有
6. 教学総括・次年度計画概要、自己点検・評価報告書の作成の支援を通じた教学PDCAサイクルの確立
 - ・「教学総括」や「自己点検・評価報告書」作成の支援

c 開催状況（教員の参加状況含む）

<平成29年度実績>

1. 教学実践フォーラムの開催
 - ・4回開催、のべ約160名参加
2. 新任専任教員対象の「実践的FDプログラム」の実施
 - ・51名が修了。修了式を実施し、修了証を授与。
3. 授業改善に関わる担当者と受講生間の意見交換の実施
 - ・授業アンケートは毎セメスター、全授業で実施。アンケート回収率は、講義系30.7%、外国語57.7%、小集団35.6%（前期）、講義系24.8%、外国語51.7%、小集団31.4%（後期）。
4. 学びと成長調査の実施
 - ・2016年度より全学生を対象に毎年度調査を実施している。
5. 『ITL (Institute for Teaching and Learning) News』を2回発行し、紀要『立命館高等教育研究』を1回発行。
6. 教学総括・次年度計画概要の作成、自己点検・評価報告書の作成の支援を通じた教学PDCAサイクルの確立
 - ・教学総括・次年度計画概要は2018年度第2回教学委員会にて承認。
 - ・各学部、研究科の要望に応じて教育開発推進機構教員が専門的知見を活かして支援を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

1. 教学実践フォーラムをつうじて共有した優れた教育実践を授業改善や学生支援に活用
2. 先進的な教育実践と学部・研究科固有の組織的なFD活動との連携を促進
3. 教員に期待する教育力量の向上および教育活動の促進
4. アンケート結果の分析をもとに学部での授業改善、教育改善の取組に反映
5. 実施結果の分析による教育内容の改善
6. 教育を取り巻く動向や課題、実践事例の共有と普及、教育に関する理論や実践の研究と成果の発信
7. 毎年度の開講方針に基づく点検・評価、次年度に向けた改善課題の明確化、自己点検・評価活動をつうじた教育内容や方法の改善促進

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・毎年度、各セメスター終盤に実施（授業アンケート）
- ・各セメスターの5～6週目（Webコースツール、「インタラクティブシート」等によるアンケート）

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・各授業および分野等で分析し、①各教員には個別分析結果を返却、②学生には結果全体の報告書をホームページに掲載すると同時に各学部・研究科事務室等の窓口で閲覧できるようにしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>医療人としての薬剤師の質的向上と、その地位の向上を目指した6年制薬学教育課程が着実に成果をあげる一方で、医薬品創製技術・手法の高度化に対応できるハイレベルな創薬研究者の育成が求められており、創薬科学の重要性は益々増大している。こうした社会的ニーズに応えるため、立命館大学薬学部では平成27年度より従来の「薬学科（6年制）」に加え「創薬科学科（4年制）」を新たに開設した。</p> <p>創薬科学科では、「薬を中心に据えた」人の健康にかかわる自然科学を基盤とし、医薬品の創製と分析、環境因子と人体への影響、疾病と薬物治療など多方面にわたる「学際的な薬学」の専門知識と技術を習得させるとともに、大学院進学を念頭に置いた研究指導により、最先端の医薬品創製と医療に貢献できる薬学研究者の養成を行う。</p> <p>上記の設置趣旨や目的を達成すべく、以下の取組みを行った。</p> <p>1. 入学者確保</p> <p>設置認可を受けてから、ホームページや入試ガイドにおいてアドミッション・ポリシーを明示して広報を行い、一般入試および特別入試による選抜を行った結果、平成27年度の入学者数は46名、定員充足率は76.7%であった。平成28年度はパンフレット配布や高校訪問等、積極的な働きかけを行った結果、入学者数は54名となり、定員充足率は90.0%と改善が見られた。しかし、平成29年度はホームページをリニューアルし、立命館大学薬学部ならびに創薬科学科の広報を積極的に行った結果、入学者は70名となり定員充足率が116.6%と大幅に超過することとなった。平成30年度は、慎重に合否判定を行い、追加合格で調整することで、入学者は53名となり、定員充足率は88.3%となった。</p> <p>2. オリエンテーション</p> <p>新入生に対して4月にオリエンテーションを実施し、人材育成目的、教育目標、教育課程編成方針を説明した上で、薬学部創薬科学科のカリキュラムや履修方法について説明を行った。また、在学生に対しても4月初旬にガイダンスを実施し、カリキュラムや履修方法について再度説明を行った。</p> <p>3. 初年次教育</p> <p>1回生配当科目である「創薬科学基礎演習」において、薬ができるまでの流れを学ぶとともに、実際の研究現場である学部の研究室をはじめ、製薬企業や研究所を訪問し、早期から研究者としての意識醸成を図るとともに、「創薬研究概論」において医薬品創製の基礎となる知識を習得し、創薬研究活動全般への理解を深めた。また、1回生・2回生を対象に卒業研究室での早期体験を実施し、研究への意欲向上を図った。</p> <p>4. 専門英語教育</p> <p>立命館大学生命科学部・薬学科で実施されており、大きな成果を上げているプロジェクト発信型英語教育プログラムを創薬科学科でも導入し、実践的な英語コミュニケーション能力の醸成を図る。平成27年度・平成28年度は、将来的な卒業論文や修士論文の英語発表を見据え、その基礎となる英語能力の向上を図った。平成29年度はより専門分野に近いコンテンツを用い、実用性のある英語力の育成を図る。平成30年度は4年間の集大成である卒業論文を英語で発表することを推奨する。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none">・「2018年度自己点検・評価報告書」を平成30年12月に公表予定 <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none">・大学ホームページ上に公開（平成30年12月を予定） <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <ul style="list-style-type: none">・平成30年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表（予定）の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 (平成30年 7月 29日)</p>

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。